

# 公民館だより

第66号  
平成29年3月  
上宮津  
地区公民館

## 大江山が教えてくれたもの

公民館長 智原芳明

吹く風に春の息吹を感じ  
る季節になりました。

大雪で折れた梅の木の枝  
が残る力を振り絞って美し  
い花を咲かせています。

「三寒四温」と言われるよ  
うに、今年の冬は決まって週  
末になると大雪になりました。  
もしかすると温暖化の影響  
で雪の少ない冬となり、夏に  
は水不足になるのではないか  
と心配をしていました。

ところが予想に反して、近  
年まれにみる大雪となり、バ  
スや鉄道が一時運休したり、  
雪の重みで農作物や樹木に被  
害が出ました。

公民館に常備してある除雪

機も連日フル回転となつて、  
配車が応じ切れないありさ  
までした。

しかし、立春を過ぎた頃に  
は何年振りかの春一番が吹  
いて、里には春の兆しがして  
きました。いつもなら春の来  
るのを待ち焦がれるところ  
ですが、どういう訳か、今年  
に限っては春の到来を素直  
に受け入れることができず、  
気持ちの中にわだかまりが  
残ったままでした。

これまで長く上宮津に住ん  
でいる私ですが、季節の変わ  
り目をこんな気持ちで迎えた  
ことはありませんでした。

これまでは、里雪が消えて

も、南の方角には白く光る大  
江山の茶屋が成ゲレンデを見  
ることが出来ました。

大江山スキー場はスキーヤ  
ーや、ボーダー、それにソリ遊  
びの家族連れなどで賑わい、  
レストハウスの食堂やストー  
プの周りでは語り合う若者た  
ちの姿を想像することが出来  
ました。大江山は地元の産業  
として上宮津の人々の心の中  
で知らず知らずのうちに醸成  
し地域に活力を与え続けてく  
れていたのだと思います。

スキーヤーとして小学生の  
ころから足を運んだ私のよう  
に、かつての賑わいを知る者  
にとつては閉鎖となつて静ま  
り返つた大江山スキー場を想  
像するのは、虚しくてやりき  
れない思いであります。

それ以上に地元や大江山の  
スキー観光に携わつてこられ  
た人たちにとつては、幾倍の

気持ちであろうと想像すると  
ころです。

少子高齢化で何をすることも  
難しい時代となり、いったい  
これからの地域をどうしたら  
良いのかと迷い陥つてしま  
いますが、こんな時こそ大江山  
に代わる新たな地場産業の育  
成に努め、魅力ある上宮津作  
りをしていくことが大切だろ  
うと思います。

おわりになりましたが、年  
度替わりを迎えるにあたり、  
各地区の自治会長様をはじめ  
各団体の皆様には公民館事業  
の実施にあたりご協力を頂き  
誠にありがとうございました。  
来年度も新役員の皆様とと  
もに「集まり・語り・学び合う」  
地域の公民館として気軽に利  
用していただけるように努め  
てまいりますので  
今後ともよろしく願ひしま  
す。

# 夢を求めて更なる前進を

上宮津自治連会長 細見節夫

今年三月末を持って自治会長の職を降りることに成りました。

平成二十一年から八年間大変お世話になりました。昭和四十年から約四十年間上宮津を離れて、平成十五年に帰郷した当時は、公民館や自治会の仕事をすることはまったく想定外のこと、大きな組織の束縛から逃れて田舎の大自然の中で晴耕雨読のゆつたりしたスローライフを送るつもりでした。

帰郷してしばらくは思い通りの炭焼きなど順調な出だしでしたが、公民館の仕事についてからは、地域の役が次々と回ってきて宮津市の自治連合会まで担うことになり、定年前の状態よりも数段重い責

任のある仕事に従事することとなりました。

人生は思い通りに楽はさせてもらえないとつくづく思い知らされました。しかし今では、健康にも恵まれてこれまでの経験や知識と人脈を生かして地域に貢献することが出来たことは充実した第二の人生であったと実感しており、世話になった地域の人々に感謝しています。

そして子供たちが都会に出ていなくなり、年寄りが増え続け、先人たちが大事に守ってきた山林も田畑も荒廃して集落機能がどんどん低下し、先行きに希望が持てない世の中の変化の中で、私は過去の労働運動のいろいろな体験や外国を含めていろいろな国や

地域で学んできた経験を生かして地域おこしを進めていくことが自分の歩む道だと考えるようになりました。

小学校の閉校も最初から最後までかかわり、閉校の悔しさをバネに地域おこしにつなげるよう努力してきました。



善光バス停もそのひとつです。

また地域おこしにあたって時代の流れに沿って新しい情報技術を取り入れることにも腐心しました。有線放送のメ

ール配信や故郷の厳しい現況を出身者はもとより都会の多くの人々に情報発信していく上宮津地域会議のホームページの開設などです。

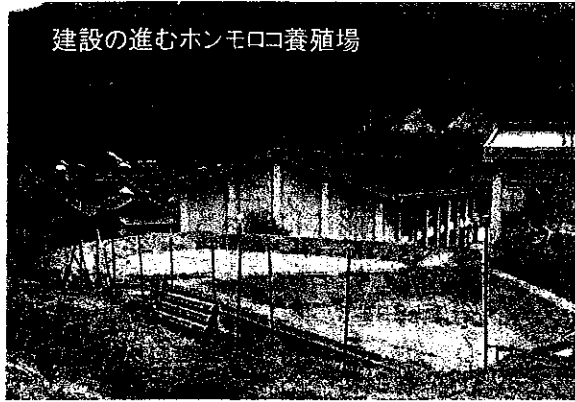
地域資源を活かすため国のいろいろな補助金を活用してワサビ栽培、大江山杉山の景観伐採や森林保全の取り組み、城山の整備などにも道を開きました。

上宮津地域会議のリーダーの立場から新しい取り組みを提案するたびにとってもついでいけないと思われた方は少なくないと感じていましたが、躊躇しているときではないと考えて地域おこしを進めてきました。

今は、全国どこかの田舎もおなじ限界集落化の道を歩んでいます。誰かがやるだろうと他人任せで何も地域起こしに取りくまない集落は消えていきます。人間の体と同じように年老いても毎日健康体操に励む人とそうでない人では体

力は大きく変わります。地域も組織もです。

今の時代は、昭和三十年代のように国全体が成長期であり、何もしなくても地域が元気になるといふ時代ではありません。自分の家庭も地域もより自己責任が求められる時代です。



上宮津地区は、今大きなふるさと再生の課題に挑戦しています。

平成二十五年に策定したビジョンに基づき、産業を興し

て若者が定住できる上宮津地区とするため国・京都府・宮津市の支援を受けながら、休耕田や学校プールを利用したホンモロコの養殖栽培、トンネル湧水を利用したワサビ栽培、大型チップパーによる竹肥料などの新規産業おこしに取り組んでいます。

この取り組みで明日から一気に若者が増えるわけではありませんが、上宮津地区を次の世代に引き継いでいくためと今の地域住民が明日に希望と夢を持って生き生きと楽しく人生を送るための必要な仕事だと考えています。地域おこしは他人事ではなく自分のこととして自覚し自ら参加することから始まります。

私は、自治会長の職は解かれて別の仕事につくことになりましたが、地域起こしの活動は地域住民一人の立場から続けていくつもりです。

地域起こしは昔の田舎では当たり前であったモヤイの協

働作業です。

終わりに上宮津地区公民館時代、自治会長時代多くの地域の皆様のご支援と御協力をいただいたで大過なく重責を果たすことが出来たことをあり

がたく光栄に思います。新しいリーダーの下でふるさと上宮津が飛躍的に発展されるよう祈念して上宮津連合自治会長解任のご挨拶とします。

# お宝は人・歴史・自然

## 知恵と活動のかみやづ

- 高級食材魚ホンモロコが育つ学校 (田んぼとプールで)
- 杉山の蛇紋岩湧水で作るかみやづわさび
- チップパーで拓く竹の学校 (循環型森林整備)

過疎地等集落ネットワーク圏形成支援事業

京都縦貫自動車道宮津天橋立インターチェンジ出口に建設の進む上宮津の地域おこしの取り組み看板

# 「民生児童委員二期目になって」

上宮津地区民生委員 常務 宮本哲雄

民生児童委員をお受けして三年が経ち、昨年十二月より二期目をさせていただいてます。

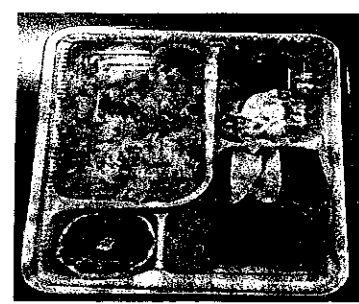
一期目の途中では上宮津小学校の閉校という、少子高齢化の進行が具体的な形となった大きな出来事がありました。始業式終業式の朝校門で登校する児童を迎えるなどの、地域の学校として関わっていた行事も無くなり寂しくなりました。

民生委員児童委員信条の中の一つに「私たちは常に地域社会の実情を把握することに努めます」とあります。私自身はといえば、配らせていただいたり行事に参加したりする中で、皆様

ら教えて貰うことが多く、ちゃんと役目が果たせているのだろうかと己の努力不足を思うことばかりです。

今度の改選では杉田さん、酒井さんの後任として直田さん、梅本さんが就任されました。退任されたお二人には先輩としていろいろお世話になりました。有難うございました。

二期目二カ月を過ぎた今、更なる少子高齢過疎化の時代に在って、仲間の委員さんたちと共に、少しでも安心して暮らせる上宮津地区の一助になれるように活動したいと思っております。



今期お世話になる  
民生委員の皆様です

- 常務
- 小田 宮本哲雄氏
- 小田 粉川正太郎氏
- 喜多 細見町子氏
- 柿が成 直田健作氏
- 天神 梅本吉彦氏
- 鳥が尾 大塩京子

# プラス・テンで **+10** **健康増進!**



ふだんから元気に身体を動かすことで、糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、うつ、認知症などによるリスクを下げることができます。今より10分多く毎日身体を動かす

(+10 プラス・テン) ことで、からだの健康、高齢期の健康が促進されます。

例えば、ふだんの掃除の時間をあとプラス10分、散歩で歩く時間をプラス10分、トレーニングでの腹筋をプラス10回、腕立て伏せをプラス10回など、プラス10増やす運動習慣を身に付けるとよいでしょう。



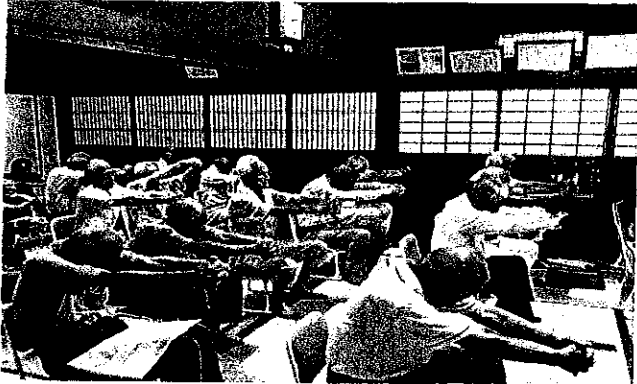
**体を動かすことは  
年齢に関係なく  
いくつになっても  
始められます**



今より少しでも長く、少しでも元気に身体を動かすことが  
健康への第一歩です。+10からはじめましょう!



# 公民館後期事業報告 1



## 7/21 健康づくり講演会

宮津包括支援センターから2名の講師を招いて介護予防の知識について学び、脳トレや椅子を使った体操を実施しました。日頃から継続した介護予防の習慣を身につけることが大切であると教えていただきました。

## 8/2 大掃除

今年も多くの皆様に参加いただき、普段では手の行き届かない所や庭木の剪定、調理室も整頓しきれいにさせていただきました。



## 8/14 盆踊り



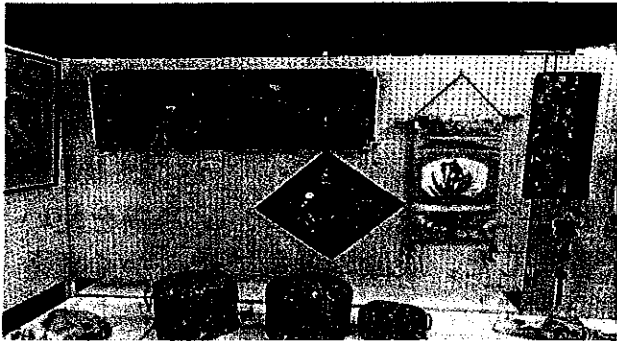
天候に恵まれ実行委員会の他、地元の多くのボランティアの皆様の協力で実施しました。お盆で帰省されている方の顔も見られ同窓会の場にもなっている盆踊りですが、年々踊り手が減ってきています。櫓の輪がもっともっと大きくなるように上宮津音頭を守り伝えていきたいです。

## 10/16 運動会

雨で順延となりましたが翌週は好天となり実施することができました。優勝、喜多自治会、準優勝、鳥ヶ尾自治会3位、松縄手自治会でした。



## 公民館後期事業報告2



### 11/12・13 農業文化祭

今年も多くの写真や絵画、手芸品などを出展していただきました。近年、雨天中止となっていたソフトボール大会を久々に実施することができました。

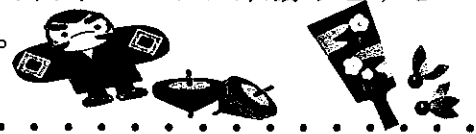
### 12/3 しめ縄講習会

年末恒例のしめ縄作り。今年はAETの皆様の参加があり、国際色豊かな行事となりました。初心者からベテランまで思い思いに挑戦し、それぞれ個性のあるしめ縄ができました。



### 1/7 新春お楽しみ会

みんなでお餅をつき丸めて餡餅、きな粉餅、ぜんざいにして食べました。普段ではする機会がないコマ回しや羽子板、めんこや福笑いなどをお年寄りから小さい子供までが一緒に楽しみました。天気がよく何年かぶりに凧揚げをすることができました。



### 2/26 人権研修

小さい子供でもわかりやすいアニメの人権ビデオを鑑賞したあと簡単に作れる餃子の皮を使ったピザ作りをしました。好みの具材をのせてホットプレートで数分焼けばチーズが溶けたいい匂い。みんなでわいわい会話をしながら食べるピザは格別！大好評でした。



# 公民館後期事業報告3

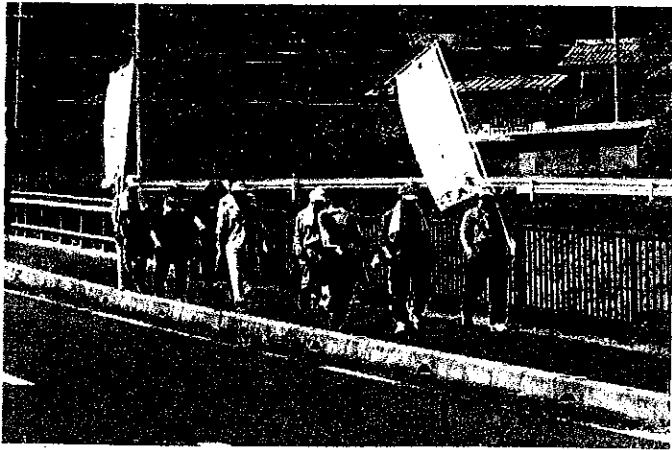


## 3 / 4 男の料理教室

簡単で美味しい豚の角煮と手作りさつま揚げの二品を作りました。豚バラ肉は圧力鍋を使いコーラで煮ました。炭酸の効果で柔らかく煮え砂糖も使いません。さつま揚げは白身のすり身に様々な具材を加え成形し油で揚げました。

# 上宮津地区健康広場だより

歩くことを中心とした健康づくり運動を推進。ウォーキングのほか、誰でも楽しめるニュースポーツ教室や毎月第一月曜日に軽スポーツを行っています。



## 7 / 1-23 ニュースポーツ教室



## 9 / 11 黄金田園ウォーク

体力測定後、初秋の田園をウォークしました。昼食に冷やしうどんを準備し、日ごろ歩きを通して思っていることや、健康について会話をしながら食べました。

